



江戸時代には、まだ地球が丸いということに

疑いを抱く人が少なく

ありませんでした。そこで赤水は

イタリア人宣教師マテオ・リッチが作成した

「こんよはんこくぜんず坤輿万国全図」をもとに

あらたに世界図を作りました。

そして北極星と南極星を

ひと目でわかるように記しました。